

## 第四回放射性同位元素陸上輸送安全対策検討会議事概要

1. 日時：平成20年12月17日（水）16：00～17：00

2. 場所：中央合同庁舎7号館9階904号室

3. 出席者

○委員：中込委員（座長）、木村委員（以上、学識経験者）、石川委員（荷主）、縣委員、鈴木委員、虎岩委員（以上、運送事業者）、山崎委員、大森委員（代理）、矢作委員、田路委員（代理）（以上、国土交通省）、黒木委員、中矢委員（以上、文部科学省）

○オブザーバー：井出交通・環境部長（（社）全日本トラック協会）、高橋事務局長（（社）航空貨物運送協会）

○参考人：ニッ川アイソトープ部長（（社）日本アイソトープ協会）、山之内取締役部長（（株）日陸）、小林 航空海運事業部長（西濃運輸（株））

4. 議事概要

○本検討会の報告（案）について事務局より説明があり、その後、意見交換があった。主な意見は次の通り。

- ・ 再発防止対策は、例に挙げたもの以外でも適切な対策であれば実施可能。ただし、具体的な策でなければならない。
- ・ 添付したチェックリストは例であり、各事業者が具体的な手法を考えてもよい。また、今後の運用の中で修正もありうる。
- ・ （社）全日本トラック協会では、今後、協会が作成している安全教育指導のための教材に放射性輸送物の内容を盛り込むこととしたい。
- ・ 対策をきちんと周知することが重要であり、（社）全日本トラック協会のような積極的な取り組みは極めて重要である。
- ・ 人間のやることなので、完全な輸送ということにはならないかもしれないが、今回の対策は、100点に近づくことのできる対策であると感じている。

○意見交換の後、報告（案）は、検討会です承された。